## ミスト CVD 法による 4-nm Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub> ゲート絶縁膜を用いた AlGaN/GaN MIS-HEMT の電気特性

AlGaN/GaN MIS-HEMTs using 4-nm-thick Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub> Dielectric Deposited by Mist Chemical Vapor Deposition 福井大院工 <sup>O</sup>Low Rui Shan、河端 晋作、Joel T. Asubar、徳田 博邦、葛原 正明 Graduate School of Engineering, University of Fukui

<sup>O</sup>Low Rui Shan, Shinsaku Kawabata, Joel T. Asubar, Hirokuni Tokuda, Masaaki Kuzuhara

熊大院自 谷田部 然治、内藤 健太、西村 和樹、中村 有水

Graduate School of Science and Technology, Kumamoto University

Zenji Yatabe, Kenta Naito, Kazuki Nishimura, Yusui Nakamura

## E-mail: shannylrs@yahoo.com, joel@u-fukui.ac.jp, yatabe@cs.kumamoto-u.ac.jp

**はじめに** AlGaN/GaN HEMT は低損失、高耐圧特性を有するため次世代パワー半導体として期待されている [1]。AlGaN/GaN HEMT においてゲートリーク電流抑制のためには金属-絶縁体-半導体(MIS)構造は必須であ る。近年、ミスト CVD 法により ALD 法と同等の膜質を有する Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub> アモルファス薄膜を形成することに成 功している[2]。本研究ではミスト CVD 法を用いた 4-nm Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub> ゲート絶縁膜を有する AlGaN/GaN MIS キャ パシタと AlGaN/GaN MIS-HEMT を試作し、容量-電圧(*C-V*)特性、伝達特性と出力特性について評価したの で報告する。

**実験** SiC 基板上に成長した AlGaN/GaN ヘテロ構造(AlGaN 膜厚 25 nm)を用いた。オーミックアニール時の 表面保護膜として SiN 膜を AlGaN 表面に堆積をし、870 ℃、30 秒間アニールをし、オーミック電極を形成 し、その後 SiN 表面保護膜を除去した。ゲート絶縁膜はミスト CVD 法により 4 nm の Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub>を堆積し、最後 にゲート電極を形成した。

**結果** 図1にミスト CVD 法により堆積した Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub>を有する AlGaN/GaN MIS キャパシタの *C-V* 特性、キャリ ア濃度と Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub>表面からの距離 *d* との関係を示す。図2と3に AlGaN/GaN MIS-HEMT の伝達特性と出力 特性をそれぞれ示す。*C-V* 特性の順バイアス領域において容量値の立ち上がりがみられることから、良 好な Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub>/AlGaN 界面特性を有していると考えられる。また AlGaN と Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub>の直列容量値、及びキャ リア濃度と Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub>表面からの距離 *d* との関係より、堆積した Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub> 膜厚は 4 nm であることを確認した。 伝達特性より  $V_{GS}$ =+3V で最大飽和ドレイン電流は約 800 mA/mm、最大相互コンダクタンス  $g_m$ は 136 mS/mm であった。図3に示すように出力特性も良好な特性を示した。

<u>まとめ</u>ミスト CVD 法により堆積した Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub> 絶縁膜を有する AlGaN/GaN MIS キャパシタと AlGaN/GaN MIS-HEMT を試作し、*C-V* 特性、伝達特性と出力特性について評価した。*C-V* 特性より良好な Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub>/AlGaN 界面を有していることが示唆され、伝達特性と出力特性も良好であった。



## 参考文献

[1] M. Kuzuhara et al., Jpn. J. Appl. Phys. 55, 070101 (2016). [2] Z. Yatabe et al., Jpn. J. Appl. Phys. 58, 070905, (2019).